

放射能研修会にあたって想定される農業経営者の不安や疑問に応えるために  
一農水省等がホームページ上で提供している情報を整理一（未定稿）

平成23年8月19日現在  
日本農業法人協会 事務局

農水省は同ホームページに原発事故対策に関する各省の情報をまとめたポータルサイトを設置しています。

## 東京電力福島第一原子力発電所事故による 農畜水産物等への影響 ～関係府省等のサイトへのポータル～

[http://www.maff.go.jp/noutiku\\_eikyo/index.html](http://www.maff.go.jp/noutiku_eikyo/index.html)

多岐にわたる情報のなかから、農業経営者のみなさんがご関心の高いと思われる部分を抜粋し、以下のとおり情報提供させていただきたいと存じます。

### 1. 土壌、水、空気、腐葉土、稲わら、堆肥などの汚染状況は？

#### 1) 都道府県別のモニタリング結果等

<http://radioactivity.mext.go.jp/ja/>（文科省）

空間線量率、上水（蛇口水）、定時降下物等についてデータを公開

#### 2) 放射線量等分布マップ

[http://radioactivity.mext.go.jp/ja/distribution\\_map\\_around\\_FukushimaNPP/](http://radioactivity.mext.go.jp/ja/distribution_map_around_FukushimaNPP/)（文科省）

線量測定マップ（推定値）  
（平成23年7月11日時点）



- 3) 稲わらの利用状況や全国での流通状況  
[http://www.maff.go.jp/j/press/seisan/c\\_sinko/110728\\_1.html](http://www.maff.go.jp/j/press/seisan/c_sinko/110728_1.html) (農水省)
- 4) 牧草中の放射性物質の調査結果について  
[http://www.maff.go.jp/j/kanbo/joho/saigai/syouhi/bokusou\\_kensa.html](http://www.maff.go.jp/j/kanbo/joho/saigai/syouhi/bokusou_kensa.html) (農水省)
- 5) 放射性セシウムを含む肥料・土壌改良資材・培土及び飼料の暫定許容値の設定について (8月1日) <http://www.maff.go.jp/j/syouan/soumu/saigai/shizai.html>  
 ・肥料・土壌改良資材・培土での暫定許容値は400ベクレル/kg (製品重量)  
 許容値を超えていても農地への還元施用は可能。  
 ・飼料での暫定許容値は 牛、馬、豚、家きんは300ベクレル/kg

#### 関係者向けリーフレット

[http://www.maff.go.jp/j/syouan/soumu/saigai/shizai\\_leaflet.html](http://www.maff.go.jp/j/syouan/soumu/saigai/shizai_leaflet.html)

耕種農家の皆様へ (PDF: 58KB)

肥料・土壌改良資材・培土の製造業者 (堆肥センター等を含む) の皆様へ (PDF: 56KB)

肥料・土壌改良資材・培土又はその原料の集荷業者の皆様へ (PDF: 51KB)

肥料・土壌改良資材・培土の販売業者の皆様へ (PDF: 59KB)

畜産農家の皆様へ (PDF: 64KB)

めん羊・山羊・鹿を飼養している皆様へ (PDF: 74KB)

飼料製造業者の皆様へ (PDF: 96KB)

飼料・飼料原料の集荷業者の皆様へ (PDF: 50KB)

飼料販売業者の皆様へ (PDF: 92KB)

#### 問い合わせ先

(堆肥について)

消費・安全局農産安全管理課肥料企画班, 肥料検査指導班 直通: 03-3502-5968

(土壌改良資材について)

生産局農業環境対策課土壌環境保全班 直通: 03-3502-5956

(培土について)

生産局農業生産支援課資材効率利用推進班 直通: 03-6744-2111

(飼料について)

消費・安全局畜産安全管理課飼料安全基準班 直通: 03-6744-1708

生産局畜産振興課飼料生産計画班 直通: 03-6744-2399

(家畜排せつ物について)

生産局畜産部畜産企画課畜産環境・経営安定対策室環境企画班 直通: 03-3502-0874

## 2. 農畜産物の汚染状況は?

### 1) 農産物に含まれる放射性セシウム濃度の検査結果 (随時更新)

[http://www.maff.go.jp/j/kanbo/joho/saigai/s\\_chosa/index.html](http://www.maff.go.jp/j/kanbo/joho/saigai/s_chosa/index.html) (農水省)

都県ごと、品目ごとに地図上で見ることができる。

米については予備調査 (収穫前) と本調査 (収穫後) の結果も確認できる。

### 2) 米の放射性物質調査に関する説明会 会議資料

[http://www.maff.go.jp/j/soushoku/kaigi\\_siryu/110803.html](http://www.maff.go.jp/j/soushoku/kaigi_siryu/110803.html) (農水省)

調査の仕組み 予備調査と本調査

予備調査は旧市町村ごと。200ベクレル超で重点調査 (15ha ごと) に

本調査で500ベクレル超なら旧市町村単位で出荷制限、廃棄処分義務づけ

## 出荷制限等についての Q&A

[http://www.maff.go.jp/j/kanbo/joho/saigai/syukka\\_kisei.html](http://www.maff.go.jp/j/kanbo/joho/saigai/syukka_kisei.html) (農水省)

出荷制限への賠償 → 原賠審査会の指針に基づいて判断

風評被害への賠償 → 相当因果関係が認められるものについて賠償

賠償を受けるための準備 → 領収書、伝票、作業日誌、写真等記録の整備

生産局農業環境対策課 03-3502-8111 (内線：4765) 直通 03-3502-5951

## 3) 農林漁業者からのよくあるご質問と回答

[http://www.maff.go.jp/noutiku\\_eikyo/maff2.html](http://www.maff.go.jp/noutiku_eikyo/maff2.html) (農水省)

しいたけ、米、牛乳・乳製品、肉と卵について

出荷制限等についての Q&A

稲の作付制限等についての Q&A

麦生産についての Q&A

野菜生産についての Q&A

果樹生産についての Q&A

お茶生産についての Q&A

花き生産についての Q&A

計画的避難区域における農地、農業用水路等の管理に関する Q&A

## 稲の作付制限等についての Q&A

[http://www.maff.go.jp/j/kanbo/joho/saigai/sakutuke\\_qa.html](http://www.maff.go.jp/j/kanbo/joho/saigai/sakutuke_qa.html) (農水省)

Q. 稲等の作付が可能な地域で、収穫物への放射性物質の移行を抑えるために、現時点で農家が実施可能な技術としてはどのようなものがありますか。

A. 取組可能な技術の1つとして、カリ肥料を慣行より多く投入することが考えられます。例えば、水稻では、過剰害の出ない、基肥・追肥合計で20 kg/10 a程度を目安にして施用することが考えられます。

【解説】カリ肥料の施用について

### 1 効果

カリウムは、放射性セシウムの作物による吸収を抑制する効果が報告されています。どの程度移行を減らせるかは、土壌条件等により異なり、今後さらに調査が必要ですが、過剰害の出ない範囲で慣行より多く投入することが対策として考えられます。

### 2 肥料の種類

カリ肥料の施用に当たっては、アンモニア態窒素が放射性セシウムの吸収を促進させるとの報告もあることから、窒素肥料の施用量が増えないよう、塩化カリ、硫酸カリ等の単肥を施用するか、カリウム含量の多い化成肥料を使用して下さい。

なお、水稻の場合は、秋落ちを避けるために硫酸カリより塩化カリの方が望ましいと考えます。

### 3 施用上の注意

作土層に均等に混ぜる方がより大きな効果が期待できるので、基肥での施用が基本となりますが、追肥による施用でも一定の効果が期待されます。

カリ肥料は、基本的に過剰害が出にくいものですが、多量に施用するとマグネシウム(苦土)やカルシウムの欠乏が出る場合があるので、葉の黄化等の症状などには気をつけてください。

3. 「食品中の放射性物質に関する暫定規制値」

[http://www.mhlw.go.jp/shinsai\\_jouhou/dl/shokuhin.pdf](http://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/dl/shokuhin.pdf) (厚労省)

放射性セシウム

飲料水・牛乳 200ベクレル/kg 野菜・穀類・肉・卵等500ベクレル/kg

- ・食品中の放射性物質に関する当面の所見(薬事・食品衛生審議会 食品衛生分科会)  
「暫定規制値を維持することが適当。さまざまな検討課題残る。①検査・モニタリング体制の充実、②きめ細かい規制、③国民とのリスクコミュニケーションの拡充が必要」

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000012bpc-att/2r98520000018kgi.pdf>

4. 出荷制限と摂取制限

1) 食品に関する出荷制限および摂取制限 (現在)

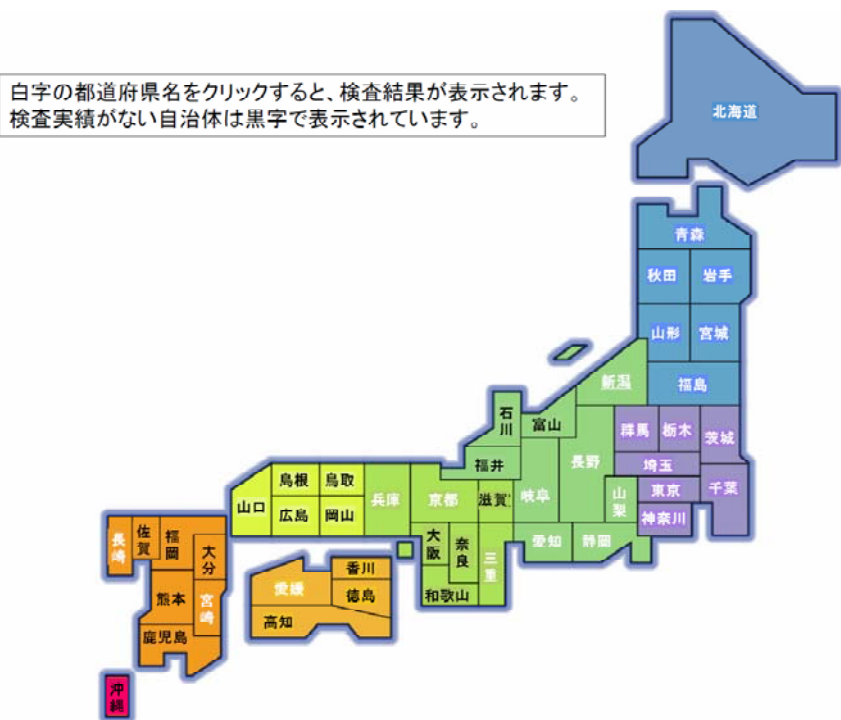
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001a3pj-att/2r9852000001a3rg.pdf>

(厚労省)

8月2日現在で8県で牛肉、茶、ホウレンソウなどが出荷制限と摂取制限

2) 食品中の放射性物質に関する検査結果 (厚労省)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001cet8-att/2r9852000001cexa.pdf>



(各都道府県ごとの検査結果を確認可能)

食品の放射性物質検査について													
NO	実施主体	産地		農場等採取 /流通品	食品 カテゴリ	品目	検査機関	採取日 (購入日)	結果 判明日	厚労省 公表日	結果(Bq/kg)		
		都道府県	市町村								ヨウ素-137	セシウム-137	セシウム-134
1	緊急時 モニタリング	福島県	会津坂下町	-	穀類	ソバ(夏ソバ)	福島県農業総合センター	H23.7.20	H23.7.25	H23.7.25	ND	ND	ND
2	緊急時 モニタリング	福島県	会津坂下町	-	その他	ナタネ	福島県農業総合センター	H23.7.15	H23.7.25	H23.7.25	ND	ND	ND
3	緊急時 モニタリング	福島県	会津坂下町	-	肉・卵	鶏卵	(財)日本分析センター	H23.4.1	H23.4.5	H23.4.5	ND	ND	ND
4	緊急時 モニタリング	福島県	会津坂下町	-	肉・卵	鶏卵	(財)日本分析センター	H23.4.28	H23.4.30	H23.4.30	ND	ND	ND
5	緊急時 モニタリング	福島県	会津坂下町	-	肉・卵	鶏卵	福島県原子力センター 福島実所	H23.6.22	H23.6.24	H23.6.24	ND	ND	ND
6	緊急時 モニタリング	福島県	会津坂下町	-	乳・乳製品	原乳	(財)日本分析センター	H23.4.7	H23.4.8	H23.4.8	ND	ND	ND

5. 消費者の不安にどう応えたらよいか（リスクコミュニケーション）

1) 食品に関するQ&A

[http://www.maff.go.jp/j/kanbo/joho/saigai/syouan\\_situmon.html](http://www.maff.go.jp/j/kanbo/joho/saigai/syouan_situmon.html)（農水省）

野菜、果実、茶、しいたけ、米、牛乳・乳製品、肉、卵、花についてのQ&A

【野菜の Q7】 食品衛生法上の暫定規制値は、放射線の防護対策を導入すべきかどうかを判断する年間被ばく線量を野菜や牛乳・乳製品等の主要な食品カテゴリーに割り当て、これら食品の摂取量等を考慮して、相当の安全を見込んで食品カテゴリー毎に設定されています。

したがって、暫定規制値を超えていない野菜であれば、食べ続けても健康への影響はありません。世界保健機関（WHO）が2003年に出した「食事、栄養及び慢性疾患予防」に関するレポートでは、野菜と果物は、口腔ガン、食道ガン、胃ガン、結腸・直腸ガンのリスクをほぼ確実に下げる効果があると報告されています。放射性物質を心配するあまり、野菜を食べなくなったり、極端に食べる量を減らしたりすると、別の観点から健康への悪影響が出ることも考えられます。

2) 食品と放射性物質に関する意見交換会（消費者庁消費者安全課 tel03-3507-9201）  
8月28日（日）神奈川県 8月29日（埼玉県）で開催

3) 食の安全に関する消費者の意識調査結果

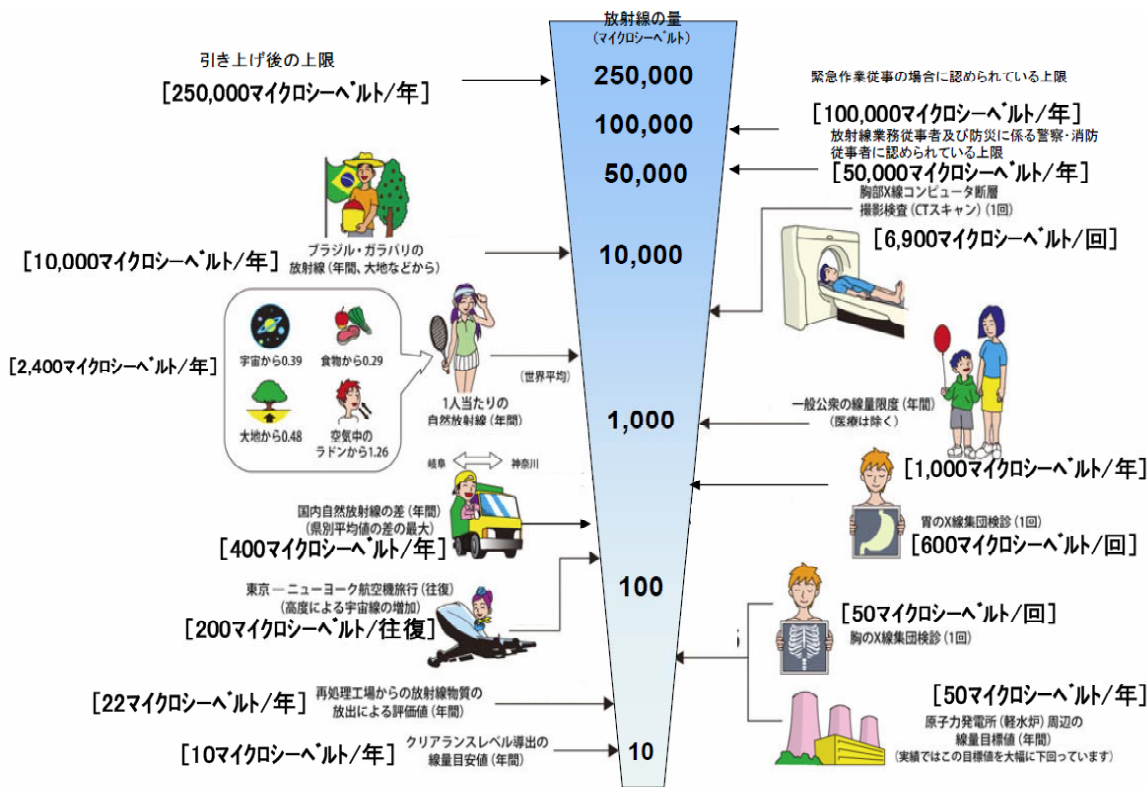
<http://www.caa.go.jp/jisin/pdf/110715press.pdf>（消費者庁）

売り場にあるものは安心だから気にしない 39.9%

被災地を応援したい 82.1%

4) 日常生活と放射線

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/23/03/\\_icsFiles/afieldfile/2011/03/18/1303849\\_1.pdf](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/23/03/_icsFiles/afieldfile/2011/03/18/1303849_1.pdf)（文科省）



※ Sv【シーベルト】=放射線の種類による生物効果の定数(※) × Gy【グレイ】

※ X線、γ線では 1

資源エネルギー庁「原子力2002」をもとに文科科学省において作成